中学校・岡山市長賞

倉安川新聞

岡山市・岡山大付属中２年　**平口　乃愛**

倉安川新聞

2021年（令和3年）
9月20日
月曜日
発行
岡山大学教育学部
附属中学校
平口　乃愛

川を守ろう。

342年の歴史　倉安川

家の近くの倉安川沿いを散歩していた時、古い看板が目にとまりました。気になったので読んでみると、倉安川の歴史について書かれていました。この倉安川は延宝七年（一六七九年）に池田光政が津田永忠に命じ、吉井川と旭川を結んで開削せた川だというのです。目の前を流れている倉安川が今から342年前に作られた人工河川だったとは考えもしませんでした。さらに調べてみると、倉安川は令和元年に灌漑施設遺産に登録されているという事が分かりました。あまり知られていない倉安川についてもっと詳しく調べてみる事にしました。

倉安川沿いの看板

灌漑って何？

農作物を育てるためには水が必要ですが山が多くて平野が少ない日本の地形では安定した量の水を農地に供給することが出来ませんでした。そこで河川や地下水、湖などから人工的に水の供給や排水を行いました。これが灌漑です。灌漑は農作物の増産，景観の維持，乾燥帯や乾期の土壌で緑化する際などに利用されています。

世界灌漑施設遺産

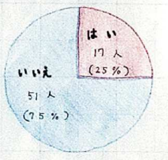
国際灌漑排水委員会（ICID）は灌漑の歴史・発展を明らかにし，理解醸成を図るとともに，灌漑施設の適切な保全に資することを目的として，建設から100年以上経過し灌漑農業の発展に貢献したもの，卓越した技術により建設されたもの等，歴史的・技術的・社会的価値のある灌漑施設を登録・表彰するために，世界灌漑施設制度が創設されました。登録により，灌漑施設の持続的な活用・保全方法の蓄積，研究者・一般市民への教育機会の提供，灌漑施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに，灌漑施設を核とした地域づくりに活用されることが期待されています。

倉安川世界灌漑施設遺産登録

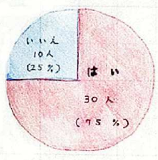
中学生　知らない　100%

倉安川が世界灌漑施設遺産に登録されたことをどれだけ知られているか調べるため，中学生68人，倉安川周辺にいる人40人にアンケートをとりました。

①岡山市を流れている倉安川を知っていますか？

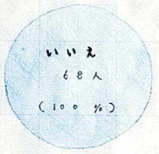


中学生

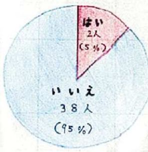


倉安川周辺の人

②倉安川・百間川灌漑排水施設群が令和元年世界灌漑施設遺産に登録されたことを知っていますか？



中学生



倉安川周辺の人

アンケートの結果から倉安川を知っている人は中学生25%倉安川週辺にいる人75%でした。倉安川周辺に住んでいる人はほとんどの人が倉安川を知っていますが，それ以外の人は倉安川を知らないということが分かりました。また，世界灌漑施設に登録されていることを知っている人は中学生0人倉安川周辺にいる人でも2人しかいませんでした。なぜ世界灌漑施設に登録された事を知っているのか聞いたところ，「倉安川沿いの看板を読んで知った。」「看板で見たり回覧板で読んだ。」との回答でした。世界灌漑施設は「灌漑施設の持続的な活用・保全方法の蓄積・研究者・一般市民への教育機会の提供，灌漑施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに，灌漑施設を核とした地域づくりに活用されていることが期待されている」にも関わらずアンケートを見ると，とても残念な結果だと思いました。そこで，岡山市産業観光局農林水産部農村整備課に今後の課題について質問をし，回答を頂きました。

倉安川の課題

①灌漑施設を知ってもらうためにどのような活動をされているのか教えて下さい

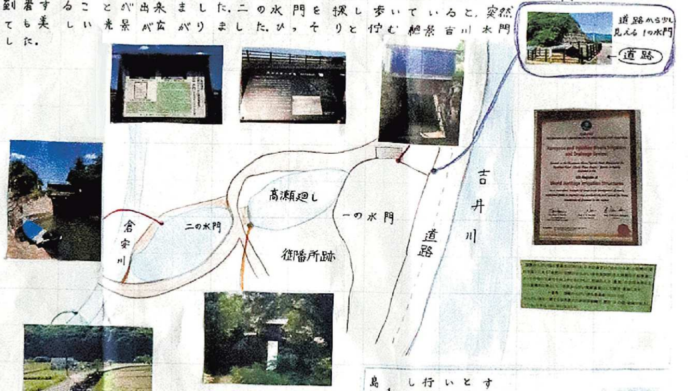
「倉安川・百間川灌漑施設群」の世界灌施設遺産」への登録申請は，地元の有志で構成された「倉安川・百間川世界灌漑施設遺産委員会（以下「遺産委員会」）」により申請され，令和元年9月4日に「世界かんがい施設遺産」に登録されました。登録後，「遺産委員会」が広く，かんがい施設遺産を知ってもらうため施設を巡るバスツアーを実施したり，施設の概要を記したパンフレット，ハガキを作成し，配布しております。パンフレットは「遺産委員会」からご提供いただき「ももたろう観光センター」でも配布されました。岡山市としては中区桜橋二丁目の倉安川沿いと東区吉井水門付近にご協力をいただき「かんがい施設遺産群」の案内看板を新たに設置しました。また岡山市のホームページの紹介も行っております。

②今後，倉安川を何か活用することは考えていますか？

倉安川は元来，農業用の用水路として整備され，今も農業に必要な水を供給し続けており，現在のところ一般的な用水路以外の用途に使用することは考えておりません。なお倉安川の一部（中区内）は一級河川となっており，河川部局において池の内大池を含め親水性を持たせた整備を行っています。

絶景　倉安川吉井水門

岡山藩主・池田光政が津田永忠に命じて，1679年から約1年をかけて掘削された倉安川を利用し，新田へ灌漑用水を供給するため，吉井水門は造られました。また，吉井水門は吉井川を下る高瀬舟を直接岡山城下へ導くための取入口の水門としても利用され，342年を経た現在もほとんど完全な形で残っています。花崗岩で築かれた吉井水門の構造は，三重に水門を設置し，「高瀬廻し」と呼ばれる船だまりで吉井川と運河内の水位を調節する，「閘門式」という先進的な技術が導入されており，国内で最古の閘門と言われています。吉井水門は吉井川沿いにありますが，入口に看板もなく，何度も通り過ぎてしまい，探すのに苦労しました。吉井川沿いの道路から少し下ったところに一つの水門が見えたので，なんとか到着することが出来ました。二の水門を探し歩いていると，突然目の前にとても美しい光景が広がりました。ひっそりと佇む絶景吉川水門に感動しました。



倉安川を憩いの場へ

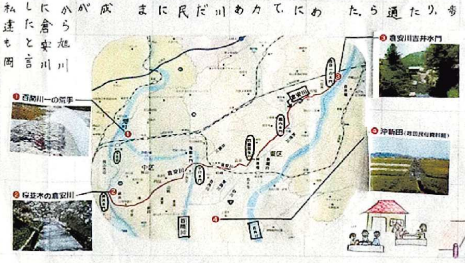
高瀬舟での船の旅

夕方倉安川沿いを散歩すると，川に夕日が当たり，とても幻想的です。昔みたいに倉安川を高瀬船が通行したら，どんなに素晴らしいだろうと考えました。

私が以前住んでいた島根県松江市には堀川めぐりがあり，川には舟が通行して，舟つき場にはカフェや観光地がありました。倉安川も観光としてだけではなく，市民も楽しめる川にできると思いました。

倉安川が完成した頃お殿様が川船で吉井川から旭川まで行くために倉安川を通って船旅をしたと言われています。私達も岡山城から乗船して途中船着き場で下船してカフェやインスタ映えスポット，観光地などで楽しむことができたらいいなと思いました。

そのようなことが可能か岡山市に聞いたところ，「倉安川周辺でのカフェや飲食店の設置等については，本来の用途である農業用水としての機能を阻害しない範囲での活用は可能ですが，倉安川への高瀬舟の運行は，橋梁などの多くの工作物が設置されているので運行は難しいと考えられる。」との回答でした。今は難しいかもしれませんが，いつか倉安川に高瀬船が運行し，市民の憩いの場になって欲しいです。



編集後記

今回アンケートに協力してくれた皆さん，質問に回答してくださった岡山市産業観光局農林水産部農村整備課の皆さんありがとうございました。倉安川は歴史のある川なので大切に守っていきたいと思いました。

参考
- 岡山市HP
- 世界かんがい施設遺産パンフレット

寸評

身近な川が世界かんがい施設遺産登録されていたことを知り、同世代の中学生にアンケートを取るなど現状を詳しくリポートしています。岡山市を取材し課題にまで踏み込んでおり、読み応えがあります。

(C)山陽新聞社　無断複製・転載を禁じます。